

番号	118	有田川改修記念碑		
所在地	有田町岩谷川内 猿川八幡神社前			
災害別	昭和２３年（１９４８） 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和３０年３月	
特記事項	碑文判読困難			



有田町岩谷川内地区の猿川八幡神社前の広場の隅に昭和23年水害に伴う有田川改修記念碑が建てられている。かつては苔むし蔭に覆われ、何の碑なのかわかりづらかったが、再訪時は草刈り等が行われていた。しかし、現在では陶板でできた碑文が以前より色あせて判読が一層困難になっている。

「昭和二十三年九月十二日古今未曾有の豪雨と大谷溜池の決潰により□□にして有田川は□□その□に□し二十四人の尊い人命を失った 有田町（時の町長江副□右工門）は□□之が抜本的復旧を計り有田川改修を決した 昭和二十五年十一月（時の町



国土地理院電子国土 Web

長久富二六）漸くにして町の改修計画は建設省の認可するところとなり昭和二十六年二月工費約壹仟万円（内国庫補助金約八割）にて工事に着手 工事中ルース台風の襲来等度重

なる悪条件と困難を克服実に歴史的な大工事といわれた有田川改修工事は一年有半の日を
かけ翌昭和二十七年九月竣工を見た 昭和三十年三月建立」

